

## 天覧山を彩るキイチゴのなかま

本橋 綾香

4月に入り、天覧山では春の草花が次々に見ごろを迎えています。今回は、天覧山の明るい道端でよく見ることができるキイチゴの仲間を紹介します。



写真1 クサイチゴ

今、花が見られるキイチゴは、クサイチゴ、モミジイチゴ、ニガイチゴです。もう少し経つと、田んぼ周辺の草原でナワシロイチゴの花を見ることができます。

キイチゴの仲間の特徴は、低い木で刺があること、雄しべと雌しべが一つの花にあり、雄しべが多数集まっていることなどです。そしてなんといっても魅力的なのが、丸くて甘い果実ではないでしょうか。キイチゴの果実は袋状の水分の多い粒が丸く集まってできており、その一つ一つに種子が入っています。キイチゴは果実の他に、葉の形や花のつき方などでその種を見分けることができます。



写真2 モミジイチゴ

例えば、天覧山周辺の山道では、白い4cmほどの花と葉が足元付近で群生しています。これはクサイチゴです(写真1)。茎には毛がびっしりとつき、細かいトゲが紛れています。その名の通り、草丈と同じくらいの高さです。果実は小さな粒がたくさん集まり、真っ赤で大きく存在感があります。

林の縁には、細い枝をのぼし、サクラのような白い花が下に向かってうつむきがちに咲いている木があります。葉がモミジの葉のように切れ込んでいれば、これはモミジイチゴです(写真2)。果実はうすいオレンジ色で、下に向かって付きます。一方、花びらが細く上を向いて咲き、葉は丸みを帯びあまり切れ込んでいなければ、これはニガイチゴです(写真3)。枝には細いトゲが多く、ロウの成分の白っぽい粉がついています。果実は赤く小粒です。



写真3 ニガイチゴ

天覧山から多峯主山の範囲では、どの登山道を歩いて多峯主山山頂にむかっても、必ずいずれかの種を見ることができます。特徴の違いを一つ覚えるだけでも、春から夏までの散策の楽しみが増えるかもしれません。

「OH!!! 天覧山 植物ガイドツアー」ではこの季節に見られる植物の見分け方や特徴についてもお話しします。ご興味のある方は、ぜひご参加ください。今回は、身近な山や公園で

観察することができるセミの生態の話をしたと思います。